

富山を代表する三人による、コラーレだけの特別朗読劇が実現！



朗読劇

富山版

蜘蛛の糸



西村 まさ彦



室井 滋



本木 克英

女と男の思い違い、すれ違い
富山の才能が集結した最高の泣き笑い舞台！

出演／室井 滋
西村 まさ彦
演出／本木克英
脚本／谷本佳織

第一部 朗読劇「水仙」
第二部 朗読劇「水仙」
第三部 トーキシヨー

第一部 朗読劇「富山版 蜘蛛の糸」

2022/9/3 土

開場 16:00 開演 16:30

黒部市国際文化センター

コラーレ
(カーターホール)

全席指定

一般

4,000円

高校生以下

1,000円

チケット一般発売

7月10日(日) 9:00~

障がい者手帳をお持ちの方

3,500円

プレイガイド：コラーレ、黒部メルシー、チケットぴあ (Pコード 513-663)

主催／公益財団法人黒部市国際文化センター
協賛／富山テレビ放送 後援／黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社
制作協力／エース・プロダクション

●未就学児の入場はご遠慮願います。 ●車椅子の方、補助犬をお連れの方は、座席の相談を承りますので、コラーレまでお問い合わせください。 ●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

●お問い合わせ● 黒部市国際文化センター コラーレ

〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地

TEL.0765-57-1201

<http://www.colare.jp/>

FAX.0765-57-1207

info@colare.jp



ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

- 手洗い、消毒液のご利用をお願いいたします。
 - マスク着用にご協力ください。
 - 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演が中止・変更になる場合があります。
最新情報はHPをご覧ください。

第1部 芥川龍之介「蜘蛛の糸」 (富山弁バージョン)

俳優・室井滋と西村まさ彦の二人が、芥川龍之介の名作を富山弁朗読劇で披露します。

お釈迦様が極楽の蓮池のほとりを散歩していたところ、遙か下の地獄の血の池で一人の男がもがいているのが見えました。この男は生前、殺人や放火などたくさんの悪事を働いた大泥棒。そんな男でも生涯に1度だけ、道端の小さな蜘蛛を足を上げて踏み殺そうともしましたが、小さいながらも命のあるものと、思いとどまり助けてやったことがあります。それを思い出したお釈迦様は男を救い出してやろうと考えて、地獄に向かって蜘蛛の糸を垂らしたのです。男は1本の銀色の糸に気づき、必死に糸を上り始めます。かなり上ってきた男が、ふと下を見る

と何千何百という罪人が重なるように上ってきていました。

1本の蜘蛛の糸に大勢ぶらさがった罪人を、名優二人が演じ分けます。



第2部 林 芙美子「水仙」

男と女の腐れ縁は、恋愛だけでなく親子の間にもあります。

戦中戦後の厳しい状況下、たまえは駆け落ちをしたものの、男には捨てられてしまいます。たまえは息子の作男を手元ひとつで必死に育ててきました。一方の作男は、体も意思も弱く、何をやるにもいい加減な男。たまえは40歳という年齢を迎え、若さもなく頼れる男もなく落ちぶれ、金を無心する息子と言い争いばかりしています。息子がいなかつたら、息子さえいなければ、もっといい人生が遅れたのでは……と母は思い、息子もそんな母を疎ましく思いながらも離れることができません。そんな時、作男は北海道の炭鉱の働き口を紹介され、行くことに。出発の日、親子で歩く銀座は楽しそうな人ばかり。別れがたいが、でもどこかでホッとするたまえ……。

親子という男女の心模様が複雑に絡み合い、切なく迫ります。

第3部 トークショー

富山最高トークショー!! 出演の二人に加え、演出を担当した映画監督・本木克英が、朗読劇の誕生秘話や富山の思いと魅力をしゃべりまくります。



室井 滋(女優)

富山県出身。早稲田大学在学中に1981年映画『風の歌を聴け』でデビュー。映画『居酒屋ゆうれい』『のど自慢』『OUT』『ヴィヨンの妻～桜桃とタンポポ～』などで多くの映画賞を受賞。2012年日本喜劇人大賞特別賞、2015年松尾芸能賞テレビ部門優秀賞を受賞。2021年映画『大コメ騒動』『草の響き』に出演。ディズニー映画『ファインディング・ニモ』『ファインディング・ドリー』日本語版のドリーの吹替えや、FMとやま、FM山形で放送の『室井滋のしげちゃん☆おはなしラジオ』、KNBラジオ『室井滋のそいがそいがザイゴなが』など、ラジオ、朗読などにも多く出演。新刊絵本に『しげちゃんのはつこい』(金の星社)、『会いたくて会いたくて』(小学館)。近刊エッセイ『ヤットコスコットコ女旅』(小学館)、『おばさんの金棒』(毎日新聞出版)他電子書籍化含め著書多数。全国各地でしげちゃん一座絵本ライブを開催中。映画『7人の秘書 THE MOVIE』(田村直己監督)10月7日公開。

Shigeru Muroi



西村まさ彦(俳優)

12月12日生まれ、富山県出身。

フジテレビ系ドラマ『古畑任三郎』の今泉慎太郎役で注目を浴びて以降、様々な作品で幅広い役を演じている。

近年ではNHKドラマ『白い濁流』、テレビ東京『つまり好きって言いたいんだけど』、NHKドラマ『剣樹抄』などに出演。

また映画では『お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方』、映画『大河への道』、映画『バスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版』などに出演している。

Masahiko Nishimura



本木 克英(映画監督)

富山県出身。早稲田大学政治経済学部卒業後、松竹に助監督入社。森崎東、木下恵介、勅使河原宏などの監督に師事し、米国留学、プロデューサーを経て、1998年『てなもんや商社』で監督デビュー。第18回藤本賞新人賞を受賞。『超高速! 参勤交代』(2014)でブルーリボン賞作品賞、日本アカデミー賞優秀監督賞など受賞。『空飛ぶタイヤ』(2018)で第42回日本アカデミー賞優秀監督賞受賞。日本映画監督協会理事長就任。2022年、日本映画復興賞受賞。

主な作品は、『釣りバカ日誌』シリーズ11~13(2000~2002)、『ゲゲゲの鬼太郎』(2007)、『犬と私の10の約束』(2008)、『鴨川ホルモー』(2009)、『おかえり、はやぶさ』(2012)、『すべては君に逢えたから』(2013)、『映画 少年たち』(2019)、『居眠り磐音』(2019)、『大コメ騒動』(2021)など。

Katsuhide Motoiki